

申立の趣旨	<p>相手方は、申立人に対して、次の金員を支払うこと</p> <p>金 円</p> <p><input type="checkbox"/>上記金額に対する令和 年 月 日から支払済みまで の割合による金員</p> <p>との調停を求めます。</p>
紛争の要点	<p>1 賃貸借契約の内容</p> <p>申立人は、相手方との間で、(2)の物件について、次のとおり賃貸借契約を締結し、引渡しを受けた。</p> <p>(1) 契約日 <input type="checkbox"/>平成 年 月 日 <input type="checkbox"/>令和</p> <p>(2) 賃借物件 所在</p> <p>名称(アパート名等)及び棟室番号</p> <p>(3) 賃借期間 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/>定めなし</p> <p>(4) 賃料 1か月金 円 (<input type="checkbox"/>平成 年 月 日から1か月金 円) <input type="checkbox"/>令和</p> <p>(5) 交付した敷金の額 金 円</p> <p>(6) 資金返還についての約定 <input type="checkbox"/>定めなし <input type="checkbox"/></p> <p>2 賃貸借契約終了日 令和 年 月 日</p> <p>3 物件を明け渡した日 令和 年 月 日</p> <p>その他の参考事項</p> <p><input type="checkbox"/>申立人は、本件賃貸借契約から発生した一切の債務を履行した。</p>
添付書類	<p><input type="checkbox"/>賃貸借契約書 <input type="checkbox"/>内容証明郵便</p> <p><input type="checkbox"/>配達証明書 <input type="checkbox"/>敷金領収書</p> <p><input type="checkbox"/></p>

「申立の趣旨」とは、あなたが求める調停のことです。

相手方に請求する金額を書いてください。

12. 敷金返還

申立の趣旨	相手方は、申立人に対して、次の金員を支払うこと 金 219,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 上記金額に対する令和 2 年 4 月 26 日から支払済みまで 年3パーセント の割合による金員 との調停を求めます。
	<p>1 賃貸借契約の内容</p> <p>申立人は、相手方との間で、(2)の物件について、次のとおり賃貸借契約を締結し、引渡しを受けた。</p> <p>(1) 契約日 <input checked="" type="checkbox"/>平成 30 年 3 月 25 日 <input type="checkbox"/>令和</p> <p>(2) 賃借物件 所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 名称(アパート名等)及び棟室番号 〇〇アパート 203号室</p> <p>(3) 賃借期間 <input checked="" type="checkbox"/> 2 年 <input type="checkbox"/> 定めなし</p> <p>(4) 賃料 1か月金 73,000 円 <input type="checkbox"/>平成 年 月 日から1か月金 (円) <input checked="" type="checkbox"/>令和</p> <p>(5) 交付した敷金の額 金 219,000 円</p> <p>(6) 敷金返還についての約定 <input type="checkbox"/> 定めなし <input checked="" type="checkbox"/> 建物明渡しの1か月後に返還する。</p> <p>2 賃貸借契約終了日 令和 2 年 3 月 25 日</p> <p>3 物件を明け渡した日 令和 2 年 3 月 23 日</p> <p>その他の参考事項 被告は、敷金をリフォーム費用に充当したので、返すべき敷金はないと言って支払おうとしない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 申立人は、本件賃貸借契約から発生した一切の債務を履行した。</p>
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 賃貸借契約書 <input type="checkbox"/> 内容証明郵便 <input type="checkbox"/> 配達証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 敷金領収書 <input type="checkbox"/>

遅延損害金の支払いを求める場合には、この口をし点でチェックし、いつからの遅延損害金の支払いを求めるのかと、その利率を書いてください。遅延損害金の支払いを明け渡した日の翌日から求める場合はその日付を書いてください。遅延損害金の率は、契約書等で特約があるときは、その率を書いてください。特約がない場合は法定利率となり、令和2年4月1日以降については、3パーセントになります。

敷金返還の時期や敷金から控除すべき金員など、敷金の返還に関して特に約束したことがあれば書いてください。

賃貸借期間満了日や契約後の合意により決めた契約終了日、解約通知に記載された契約終了日など、賃貸借契約期間の最終日を書いてください。

あなたが実際に物件を明け渡した日を書いてください。

請求する敷金の根拠になっている賃貸借契約の内容について書いてください。賃貸借契約書がある場合は、その契約書に書いてあるとおりに記載してください。

相手方が敷金を支払わない理由など相手方の言い分や、この紛争について他に参考になることを書いてください。

ここに例示されているような証拠書類があれば該当する口をし点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の口をし点でチェックして空欄にその書類の名称を記載し、その書類の写し(コピー)を2通作成して、申立書と一緒に提出してください。